



～時代に合わせた保育環境の変化を～
**保育施設からおむつの持ち帰りをなくすことで、
 保護者・保育士の負担を軽減** 保育園からおむつの持ち帰りをなくす会 代表 上野 公嗣

子ども用のおむつ環境の変化

布おむつから紙おむつへ

1980年半ばごろ、子ども用の紙おむつの利用者は急増しました¹⁾。都度洗濯をして乾かさなければいけない「布おむつ」と比べると、使用後に捨てればいいだけの「紙おむつ」は後始末が楽になるため、多くの人に受け入れられました。現在では、紙おむつの利用率は99%²⁾にも上っています。

保育施設におけるおむつ対応の現状

昨今、保育施設向けの紙おむつサブスクリプションが増えはじめてはいますが、まだまだ多くの保育施設に通う保護者は、使い捨て紙おむつ1枚1枚に対して手書きで子どもの名前を書き、月間100枚程度を保育施設に持参しています。これは、忙しい保護者にとって負担になっています。

また、保育施設で大きな問題になっているのが「使用済みの紙おむつを保護者に持ち帰らせている問題」です。子どもの年齢にもよりますが、1日5枚程度の使用済み紙おむつを、保育施設から毎日保護者は持ち帰っています。5枚分の使用済み紙おむつは、し尿も含んでバス

ケットボール1個ぐらいの大きさになるので、ただでさえ荷物が多い保護者にとっては大きな負担になっています。さらに、衛生面や臭いの面でも保護者を悩ませています。保育施設からの帰り道に、「衛生面が気になって買物に寄れない」「臭いが気になって電車に乗れない」など、子育てをさらに大変にしています。

加えて、この使用済み紙おむつの持ち帰り問題は、保護者だけではなく保育士も困っています。それは、保護者に使用済みのおむつを持ち帰ってもらうために、保育士が園児ごとに袋を準備して分別しなければいけなくなるからです。毎日の業務に追われる中で、間違えないように園児ごとにおむつの分別をしたり、ビニール袋をきつく縛って保護者にお返ししたりなど、こちらも負担になっています(図1)。

私たちが2021年2～3月にかけて実施した、公立保育施設がある全国1,461



図1 おむつ持ち帰り問題のデメリット

・2022年4月時点における公立保育園のおむつ持ち帰り状況
 ・紙、布おむついずれかで、保育園からおむつを持ち帰っていることを確認した市区町村を「持ち帰りあり」として集計

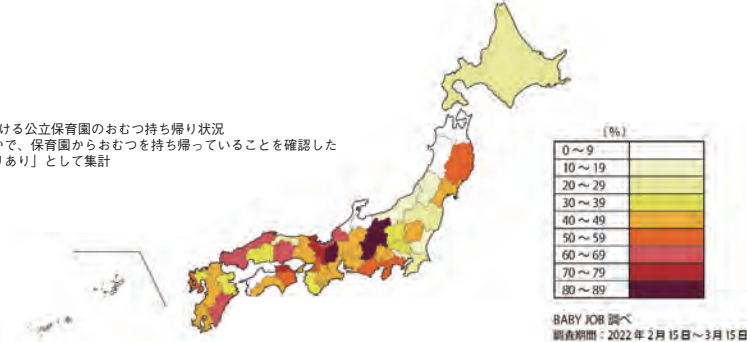


図2 全国のおむつ持ち帰り状況マップ
 ～公立保育園でおむつの持ち帰りがある市区町村の割合～

の市区町村に対して行なった調査では、約4割にあたる576の市区町村が使用済みおむつを保育施設で廃棄せず保護者に持ち帰らせていることがわかりました(図2)。

なぜおむつを持ち帰る文化ができた?

使用済みの紙おむつを保護者に持ち帰らせている理由として最も多かった回答は、「子どもの体調管理のため」です(図3)。これは布おむつを使っていたときの名残だといわれています。布おむつの場合、保護者は使ったおむつを持ち帰って洗濯し、また持つという形になると思いますが、持ち帰ったときに子どもの便を見れば健康

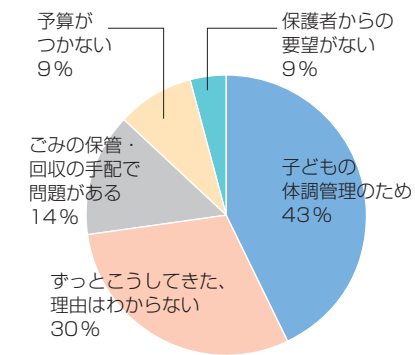


図3 おむつを持ち帰りをさせる理由
 (回答を得られていない市区町村もあります)

チェックができるとされていました。紙おむつが普及した後もおむつの持ち帰りが続き、実際に持ち帰って中身を見ている人は多くないため、意味のない持ち帰りという習慣だけが残ってしまった状況です。

おむつ持ち帰り問題が解決しない理由

保育施設からおむつの持ち帰りをなくすことができれば、保護者と保育士双方の負担軽減につなげることができるのに、なぜ「おむつの持ち帰り問題」は解決しないのでしょうか?

大きな要因の一つとして、使用済みの紙おむつをどのように廃棄すべきかの方針が、国や市区町村で定められていないことが挙げられます。方針がないため、各保育施設が「保護者におむつを持ち帰らせるかどうか」を判断しなくてはならず、結果として「おむつの持ち帰り問題」には地域の差(図2、表1)が生まれています。

おむつ持ち帰り問題解決に向けて

「子どもの体調管理」が理由で持ち帰りにしている場合の解決策

おむつの持ち帰りをさせている市区町村のうち43%が「子どもの体調管理」

を理由にしていますが、実際に便の状態を確認している保護者が少ない中で、本当におむつを持ち帰らせる必要があるのでしょ

うか？
持ち帰りをさせていない多くの保育施設では、便に異常があった場合、連絡帳や口頭で伝達しています。最近だとドキュメンテーションが普及しているため、画像を使って便の状態を共有することも可能になっています。上手にICTを活用して保護者とのコミュニケーションを取り、子どもの体調管理はもちろん、保護者・保育士双方の負担軽減も叶えることができています。

「これまでの慣習」「廃棄費用がない」「ごみの保管・回収の手配」が理由で持ち帰りにしている場合の解決策

持ち帰りをさせている理由で2番目に多かったのは、「これまでの慣習（今

までずっとこうしてきたから）」と回答した自治体が30%。次に「廃棄費用がない」14%、「ごみの保管・回収の手配」9%という結果になりました。

上記3つの理由は、行政から方針が示されないことが原因で起きていると考えます。各保育施設に判断を委ねるのではなく、行政が方針や持ち帰りをなくすための進め方を示すことで、最適な方法を地域全体で取り組んでいけると思っています。

私たちの取り組み

保護者・保育士にとって大きな負担になっているおむつの持ち帰り問題ですが、実は当事者たちの中で問題だと認識されていないのがこの問題の特徴ともいえます。つまり、持ち帰りをしている保護者は「持ち帰らないといけ

ない場合は「持ち帰らないのが当たり前」という状況になっており、問題が明るみに出にくいという状況なのです。

私たちは当事者が声を上げやすい環境を作るために、社会でこんな問題が起きているということを認知してもらう取り組みを行なってきました。最初の取り組みとしては、どれだけおむつの持ち帰りが行われているかを把握するため、全国の公立保育施設がある市区町村に対して電話による調査を行いました。前述の通り、地域によっておむつの持ち帰り状況に差が生じており、この子育て格差に対して問題意識をもった多くのメディアが取り上げてくれました。

また、国に対して働きかけを行うため、オンライン署名サイトを活用して、賛同者を募りました。結果、1万6千人以上の賛同者を集めることができます。賛同者の声としては、「使用済みのおむつを持ち帰らせているなんて知らなかった」「おむつを持ち帰るのが当たり前だと思っていたから、なくすことができるとは思わなかった」「子どもを預けているから持ち帰りたくないとは園に言いつらい」などがあり、問題が見えづらい状況にあることが改めてわかりました。ここで集まった署名と国に対する要望書を加藤勝信厚生労働大臣に対して、2022年9月22日に提出しました。それから4か月後の2023年1月23日、厚生労働省が独自

参考文献

- 1) 経済産業省：紙おむつの歴史
https://www.meti.go.jp/policy/chemical_management/chemical_wondertown/babygoods/page04.html (閲覧日 2022年12月27日)
- 2) (一社) 日本衛生材料工業連合会：紙おむつ排出量推計 (2020)
<https://www.env.go.jp/content/900534446.pdf> (閲覧日 2022年12月27日)



図4 持ち帰りをなくすかるた

の保育施設のおむつ持ち帰り実態を調査した後、各自治体に向けて「使用済みおむつを園で処分することを推奨する」という通達を出しました。

他、おむつ持ち帰り問題が多くの人に理解してもらえるように「持ち帰りをなくすかるた (図5)」の作成をしてSNSで配信をしたり、問題の認知を上げるためにクラウドファンディングで応援資金を集めて大型サイネージ広告に出稿しています。

よりよい未来に向けて私達が求めること

今回行政からの方針が示されたことによって、各市区町村・各園は園内処理をするためにはどうすべきかを考える段階に入りました。そのために私たちはこれから、誰かに負担のしわ寄せがいかないように、廃棄に係る費用はどうすべきか、使用済みおむつの保管方法はどのようにすべきかなど、具体的な話を園に寄り添ってサポートしていきたいと思っています。

表1 おむつの持ち帰りをさせている割合が高い都道府県ランキング

持ち帰りありの割合が高い都道府県 ワースト10

	市区町村数 (公立園あり)	持ち帰りあり		持ち帰りなし		把握していない その他	
		市区町村数	%	市区町村数	%	市区町村数	%
全国	1,461	576	39	717	49	168	11
1 滋賀県	18	16	89	2	11	0	0
2 長野県	75	64	85	4	5	7	9
3 京都府	26	19	73	6	23	1	4
4 香川県	16	11	69	4	25	1	6
5 島根県	12	8	67	4	33	0	0
6 山口県	18	12	67	6	33	0	0
7 福井県	17	11	65	3	18	3	18
8 大阪府	41	25	61	14	34	2	5
9 岡山県	25	15	60	8	32	2	8
10 宮崎県	20	12	60	6	30	2	10

・2022年4月時点における公立保育園のおむつ持ち帰り状況
・紙、布おむついずれかで、保育園からおむつを持ち帰っていることを確認した市町村を「持ち帰りあり」として集計